

AKB48 高橋みなみも考察した日本初のリーダーシップ論

書籍『バカと笑われるリーダーが最後に勝つ トリックスター・リーダーシップ』の発売

リーダーシップ・スタイリストの松山淳(アースシップ・コンサルティング)は、2013年7月17日に書籍『バカと笑われるリーダーが最後に勝つ トリックスター・リーダーシップ』(ソフトバンク新書)を発売します。本書では日本初のリーダーシップ論「**トリックスター・リーダーシップ**」について解説しています。

「トリックスター」とは、神話学や深層心理学で考察されたキャラクターです。文学人類学者ポール・ランディによって究明され、深層心理学者ユングの理論にも組み込まれています。「トリックスター」は、「愚か者」「道化」と訳され、日本神話「スサノオ」、北欧神話「ロキ」、ギリシア神話「ヘルメス」が有名です。トリックスターは「愚か者」と嘲笑される存在ながら、時に、英雄的偉業を成し遂げます。「愚かさ」ゆえに境界を越えて幅広く行動する特性をもち、物語のキーになるキャラクターとして新たな局面を切り拓き、物語を前進させる力を持ちます。

この「境界を越える」特性は、リーダーの資質としてリーダーシップと親和性が高いものです。本書では、トリックスターの特性を考察し5つの原則を設定しました。「1.アンビバレント(両義性)」「2.創造的破壊」「3.したたかさ」「4.異なる世界をつなぐ」「5.転化と統合(失敗を笑いに)」。

このキーワードをもとにトリックスター・リーダーシップを次のように定義します。「アンビバレントさを強みとして創造的破壊を引き起こし、相対立する世界の境界を越えてしたたかに動きまわり、ネガティブなものをポジティブなものへと転化し、矛盾を統合しながらビジョンを実現する力」。

本書では、ニコロ・マキャベリ、織田信長、坂本龍馬、本田宗一郎、スティーブ・ジョブズ、AKB48 高橋みなみ、稲盛和夫をとりあげ、日本初となるリーダーシップ論「トリックスター・リーダーシップ」について解説しています。



【著者プロフィール】

松山 淳 (まつやま じゅん) 1968年 東京都生まれ。リーダーシップ・スタイリスト/コンサルタント/MBTI認定ユーザー。成城大学文学部卒。約9年間広告代理店に勤務後、アースシップ・コンサルティング設立。世界の企業が活用するMBTI®メソッドで自己分析を行い、リーダーたちがその人らしいリーダーシップを發揮できるようにサポートする。「リーダーの自己成長を支援し 人と組織を元気にすることで 世界の家族にたくさん笑顔ひろげる」を使命に、リーダー層(経営者、起業家、管理職)を対象とした個別相談、コーチング、研修、講演、執筆活動など幅広く活躍中。著書:『名もなき人の生きるかたち』(文芸社)『「上司」という仕事のつとめ方』(実務教育出版) 『真のリーダーに導く7通の手紙』(青春出版社)。

【書籍発売記念プレゼント・キャンペーン】

本書の購入者を対象に『未収録原稿』『こころ響く言葉(名言集)』をもれなくプレゼントします。また、2013年8月8日までの応募者を対象に合計15名様に『名もなき人の生きるかたち』(文芸社)、『真のリーダーに導く7通の手紙』(青春出版社)をプレゼントいたします。

応募ページ:<http://www.earthship-c.com/FormMail/TricksterLeadership/FormMail.html>

【目次】『バカと笑われるリーダーが最後に勝つ トリックスター・リーダーシップ』(ソフトバンク新書)

■第1章: 真のリーダーは、笑われてもたくましく前進する

- ・笑われることを恐れないリーダーは前進する
- ・「勝者は笑者」——最後に笑うために、最初に笑われる——
- ・トリックスターとリーダーシップ論の共通点
- ・童話『長靴をはいた猫』に学ぶリーダー術
- ・トリックスター・リーダー五つの原則

■第2章: 日本人は、笑われてバカにされて強くなった

- ・日本人は、笑われてバカにされて強くなった
- ・日本企業は「猿真似」と笑われて強くなった
- ・日本人は、働くことで神とつながる不思議な民族
- ・日本人は、「強いリーダー」を求めている
- ・『NARUTO—ナルト—』の「我愛羅」の演説に見る日本人のリーダー・スタイル
- ・リーダーがチームをまとめるためには、自らを笑う

■第3章: ピンチにこそ笑われるリーダーが真価を発揮する

- ・ピンチのときこそ、笑われ者に女神は微笑む
- ・「危機のリーダーシップ」五つの原則
 - 1 火事を消した後は、後から考える
 - 2 “悪い人間”になってこそ“正しいこと”が行える
 - 3 “賢いカメ”より“愚かなウサギ”が勝つ
 - 4 上の人間に嫌われてこそ、部下はついてくる
 - 5 最後の最後は、“MBA流戦略論”より星一徹の“根性論”

■第4章: 笑われながら時代を切り拓いたリーダーたち

- ・ニコロ・マキャベリ リーダーの必読書『君主論』は就職論文
- ・織田信長 天下布武を目指した『うつけ者』
- ・坂本龍馬 薩長同盟を成し遂げた境界を越えてゆく行動力
- ・本田宗一郎 企業を規制しようとする権威と闘い続けた男
- ・スティーブ・ジョブズ 「禅」を愛したカリスマ・リーダーの愚直さ
- ・高橋みなみ (AKB48) リーダーとしての自分をつくりあげる
- ・稲盛和夫 巨象NTTに挑み、JALをも再建した「経営の神様」

■第5章: 笑われても前に進むリーダーになる五つの思考

- ・1「LAL思考」“リーダーを演じる”と考えればタフになれる
- ・2「二刀流思考」(アンビデクストラ・シンキング)で境界を越える
- ・3「清濁併呑思考」悪に手を染めるから、本当に正しいことができる
- ・4「多異多幸思考」多くの異質をつなげて、多くの幸せを生み出す
- ・5「ラスト・ラフ思考」笑われるリーダーこそが、最後に勝つ

【お問い合わせ】

アースシップ・コンサルティング 松山淳 東京都目黒区緑が丘 1-6-4

TEL 03-3725-4277 e-mail: j@earthship-c.com HP: <http://www.earthship-c.com>